Electrolux

by TOSHIBA

Electrolux by TOSHIBA
はヨーロッパ最大の白物家電メーカー
であるElectrolux社のデザインと機能
を東芝が皆様にご提供するものです。

エレクトロラックスエスプレッソコーヒーメーカー（家庭用）

取扱説明書

形 名

EHC-E40

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買いあげ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびはエレクトロラックスエスプレッソコーヒーメーカーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負う可能性が想定されること」を示します。

⚠注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止
⦸は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示
●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意
△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

分解・修理・改造はしない

火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご依頼ください。

コンセントを単独で使う

電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電・故障の原因になります。

禁止

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの原因のになります。

禁止

ボトル（ガラス容器）なしで使わない

やけどの原因になります。

使用禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

感電・ショート・発火の原因になります。

（警告つづき）

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

使用中、または使用後にタンク内の気圧が上がっているときには、タンクキャップをはずさない

蒸気圧や熱湯が噴き出しやけどの原因になります。使用後は「タンク内の蒸気のだしかた」（9ページ参照）にしたがい、毎回タンク内の蒸気を出すようにしてください。

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電やけがの原因になります。

使用中や使用直後は湯口、スチームノズル、スチームパイプ、フィルター、フィルターホルダーなど高温部に触れない

やけどの原因になります。

部品の取り付け、取り外しおよびお手入れをするときは、切替つまみを切り、電源プラグを抜く

感電・けがの原因になります。

⚠注意

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

火災の原因になります。

蒸気口や湯、コーヒー液の出る部分には触れない

やけどの原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

禁止

壁や家具の近くで使わない

蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色・変更の原因になります。

冷えてから行う

お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。

禁止

抽出中にフイルターホルダーやボトル（ガラス容器）を外さない

やけどの原因になります。

禁止

ボトル（ガラス容器）をのせたまま、本体を動かさない

やけどやけがの原因になります。

禁止

ミルク泡立て中は、スチームノズルの先端をミルクの表面から出さない

蒸気圧でミルクが飛び散り、やけどの原因になります。

お願い

ボトル（ガラス容器）は火にかけたり、電子レンジで使ったり、傷つけたりしないでください

破損する原因になります。
割れや欠けが発生したら、すぐに交換してください。

タンクの中に水以外のものを入れないでください。（牛乳、アルカリイオン水、お湯など）

故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき

本 体

切替つまみ
切替つまみの「STOP」を本体の●印にあわせると電源が切れます。「」（蒸気）または「」（抽出）にあわせると、電源が入り電源ランプが点灯します。

電源ランプ
電源が入るとランプが点灯します。

タンク

湯口

トレイ

フイルター
出来上がりのカップ数に相当するコーヒー粉の使用量が表示されています。フィルターホルダーに取り付けて使用します。

フイルタークランプ
フィルターホルダーに取り付けられたフィルターを固定します。

抽出口

フイルターホルダー

安全上のご注意ラベル

タンクキャップ

フィルターホルダー取り付け合わせ位置表示
フィルタークランプの▲印を「REMOVE」に合せてフィルターホルダーを「LOCK」の表示まで回し、取り付けます。

スチームノズルキャップ

スチームパイプ

電源プラグ

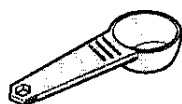
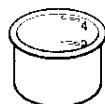
電源コード

トレイプレート

ボトルふた

給水目盛り
タンクに入れる水の量は、ボトルの目盛りで量ります。

ボトル（ガラス容器）

付属品

計量スプーン

フィルター

使いはじめる前に

はじめてご使用になるときや、長時間使わなかった場合は、本体内部を洗浄するため、タンクに水を入れ、コーヒー粉を入れないで、抽出する操作を2回以上行ってください。

●水の入れかた、通電のしかたは、エスプレッソコーヒーの作り方を参照してください。

おいしいエスプレッソコーヒーをいれるために

コーヒー豆（粉）は新しいものを

コーヒー粉は開封後1週間で風味が損なわれます。密閉容器（キャニスターなど）に入れて保存してください。その場合、冷蔵庫や冷凍庫には入れないでください。コーヒー豆は冷暗所で4週間程度の保存が可能です。

使用するコーヒー豆（粉）

焙煎の場合…必ずフレンチローストかイタリアンローストの深炒りをご使用ください。

挽きかた……「エスプレッソコーヒーメーカー用細挽き」とご指定ください。
食塩や砂程度の粗さが目安です。挽きかたが粗すぎると、薄めのエスプレッソコーヒーになる場合があります。挽きかたが細かすぎるとフィルターの目づまりの原因になり、フィルターフォルダーのまわりからコーヒーがもれ出すおそれがあります。

水は

水道水を必ずご使用ください。

お願い

ミネラルウオーターやアルカリイオン水はご使用にならないでください。
コーヒーメーカー内部に鉱物成分などがつまり故障の原因になります。

コーヒーカップ

高さ7cm位までの小型のデミタスカップなどを選び、あらかじめカップをあたためておいてください。

■エスプレッソコーヒー

7ページ

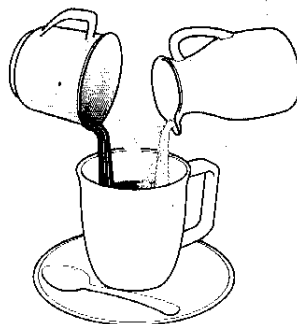
●スチームの圧力で熱湯をコーヒー粉に一気に通し、短時間に抽出する方法で作られたコーヒーを、エスプレッソコーヒーといいます。
●独特の苦味のきいた香り高いコーヒーで、イタリアを中心に南欧で広く好まれています。

■カプチーノコーヒー

10ページ

●エスプレッソコーヒーに泡立てたミルクの泡を浮かべます。
●お好みでシナモン粉をその上からふりかけたり、オレンジの皮の薄切りを浮かべたりします。シナモンステックで混ぜると香りを楽しめます。

■カフェ・ラテ
（カフェ・オレタイプ）

●大きめのカップにエスプレッソコーヒーと、あたためた牛乳（スチームミルク）を同時に注ぎます。

エスプレッソコーヒーの作り方 （つづく）

⚠警告

使用中や使用直後は湯口、スチームノズル、スチームパイプ、フィルター、フィルターホルダーなど高温部に触れない（接触禁止）

やけどの原因になります。

使用中、または使用後にタンク内の気圧が上がっているときには、タンクキャップをはずさない（禁止）

蒸気圧や熱湯が噴き出しやけどの原因になります。使用後は「タンク内の蒸気のだしかた」（9ページ参照）にしたがい、毎回タンク内の蒸気を出すようにしてください。

⚠注意

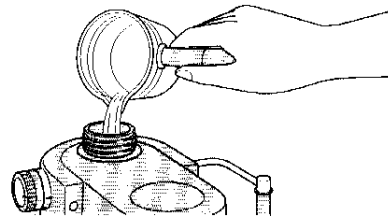
抽出中にフイルターホルダーやボトル（ガラス容器）を外さない（禁止）

やけどの原因になります。

1 タンクに水を入れる

水は水道水をご使用ください。

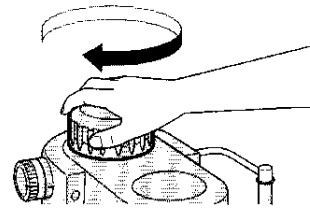
(1) 切替つまみの「STOP」が真上にあることを確認します。

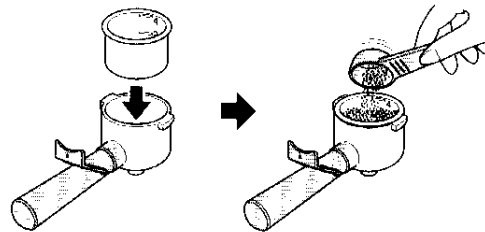
(2) お好みにあわせた量の水を、ボトルの目盛りにあわせて入れます。
1杯分の目安は粉6g・水60mlです。

水の量（エスプレッソコーヒー）

できあがりカップ数	フィルターの目盛り（コーヒー粉の量）	タンクの目盛り（水の量）
2杯	「2」の目盛り（約12g）	「2」の目盛り（約120ml）
4杯	「4」の目盛り（約24g）	「4」の目盛り（約240ml）

(3) タンクキャップを開けボトルの水をタンクに入れます。

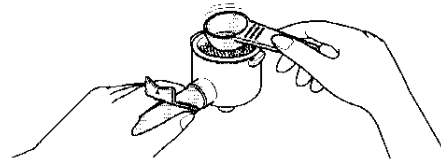
(4) タンクキャップをしっかり閉めます。

タンクに水以外のお湯や牛乳などを入れないでください。変形や故障の原因となります。

2 フィルターホルダーにフィルターをセットする

フィルタークランプでフィルターを押さえます。

3 フィルターにコーヒー粉を入れる

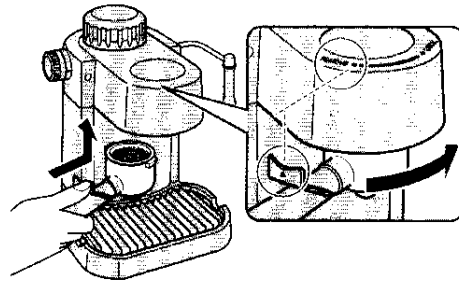
(1) 水の量に応じてフィルターへコーヒー粉を入れます。フィルター内の目盛りの「2」が2杯分、「4」が4杯分です。

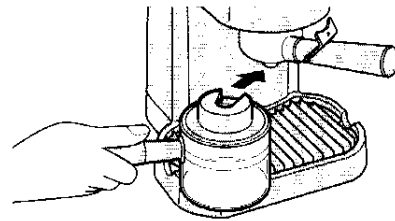
(2) フィルター内のコーヒー粉は付属の計量スプーンの底で押して、平らにならします。

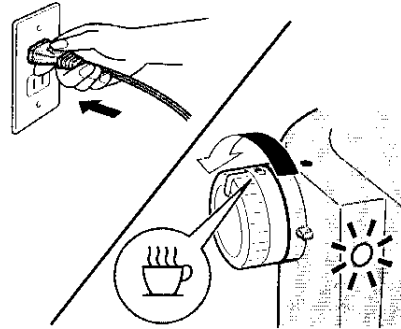
お願い

フィルターとフイルターホルダーの、ふちについたコーヒー粉は、必ずふき取ってください。コーヒーがもれる原因になります。

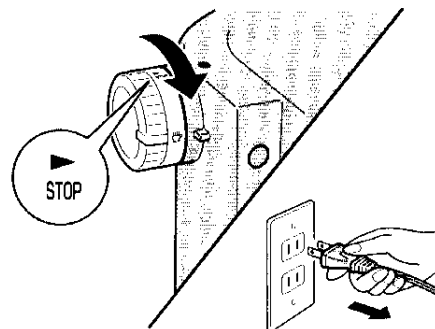
エスプレッソコーヒーの作り方（つづき）

4 フィルターホルダーを本体の湯口に取り付ける

（1）フィルタークランプをフィルターのふちから外します。
（2）フィルタークランプの▲印を「REMOVE」（本体に向かって左側）の位置にあわせて、湯口に水平に押しあげます。
（3）本体を押さえながら、フィルタークランプの▲印が「LOCK」の位置で完全に止まるまで回してください。締め付けが弱いとコーヒーがもれたり、スチームが噴出する原因になります。

5 ボトルを抽出口の下にセットする

トレイにトレイプレートがセットされていることを確認します。
ボトルふたを閉め抽出口の下に、確実にセットしてください。抽出口からボトルが外れて置かれていると、コーヒーがボトルに入らず、トレイの上にこぼれることがあります。

6 電源プラグをコンセントに差し込みコーヒーを抽出する

（1）切替つまみを「☕」(後ろ方向）に回し、カップの絵が真上にくるようにします。
（2）電源ランプが点灯し、約3分後にコーヒーの抽出が始まります。
（3）抽出口から蒸気の噴出や、コーヒー液が落ちてこなくなったらできあがりです。

7 電源を切る

コーヒーができあがったら、切替つまみを「STOP」の位置にもどし、電源ランプが消えたことを確認します。自動的に電源は切れません。必ず切替つまみを回し電源を切ってください。抽出口から蒸気が出ているときは、［タンク内のスチームの出しかた］の手順に従い、蒸気圧を下げてください。

8 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く

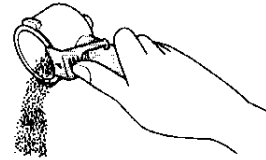
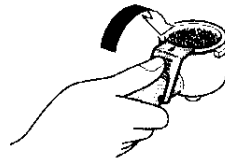
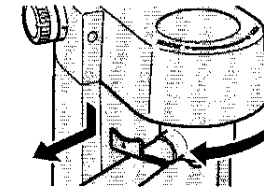
⚠警告

使用中や使用直後は湯口、スチームノズル、スチームパイプ、フィルター、フィルターホルダーなど高温部に触れない

接触禁止 やけどの原因になります。

9 コーヒーかすを捨てる

（1）本体が冷えたことを確認し、本体を押さえながら、フィルターホルダーを「REMOVE」（左の方向）に回し本体からはずします。

（2）フィルターホルダーが熱くなっていたり、フィルター内にコーヒー液が残っていることがあります。必ずフィルタークランプで、フィルターを固定しコーヒー粉のかすを捨て水洗いをします。

10 お手入れをする

本体が冷えたらタンク内のスチームを出した後で、12ページの［お手入れのしかた］にしたがってお手入れをしてください。とくに湯口部は、固くしぼった清潔なふきんでふいてください。

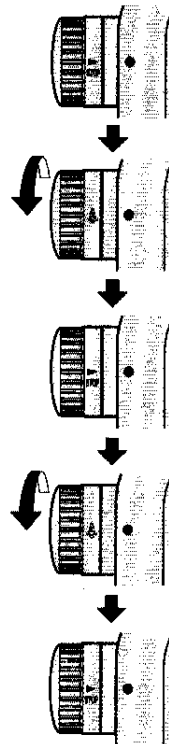
タンク内のスチームの出しかた（蒸気圧の下げかた）

使用後はまだタンク内に残り水があり、蒸気圧が高くなっています。蒸気圧の高い状態で切替つまみを「♨」の方向に回したり、タンクキャップやフイルターホルダーををはずしたりすると、スチームや熱湯が噴出することがあります。

1. 水の入った大きめの陶器の容器を用意します。

2. 切替つまみを「STOP」にあわせ電源を切り、電源プラグを抜きます。

3. 水の入った容器にスチームノズルの先端部分が、水に浸る程度に持ち、ゆっくりと切替つまみを「♨」が真上にくるように手前の方向に回します。スチームノズルからスチームがでてきたら、タンク内の蒸気圧が上がっている状態です。

4. スチームが出なくなったら、切替つまみを「STOP」の位置にもどします。

カプチーノコーヒーの作り方

⚠注意

禁止

ミルク泡立て中は、スチームノズルの先端をミルクの表面から出さない
蒸気圧でミルクが飛び散り、やけどの原因になります。

1 エスプレッソコーヒーを作る

まずエスプレッソコーヒーをボトルのスチームの絵のラインまで抽出します。
エスプレッソコーヒーの作り方は7～9ページの手順1～5に従ってください。
ただし、タンクに入れる水の量は、ミルクを泡立てるスチーム分の水量を追加します。
水の量は下記の表に従い、ボトルの目盛りで量りタンクに入れてください。

水の量（エスプレッソコーヒー）

できあがりカップ数	タンクの目盛り（水の量）
2杯	「2」と「4」の目盛りの中心（約180ml）
4杯	金属ベルトの上部まで（約300ml）

エスプレッソコーヒーが出来て、湯口からスチームが出なくなるまで、フィルターホルダーは外さないでください。湯口から熱湯やスチームが噴出することがあります。

2 ミルクを用意する

ステンレスまたは陶器のミルクピッチャーやマグカップなどの容器を用意し、よく冷やしたミルクを、用意した容器に3分の1の量を入れます。

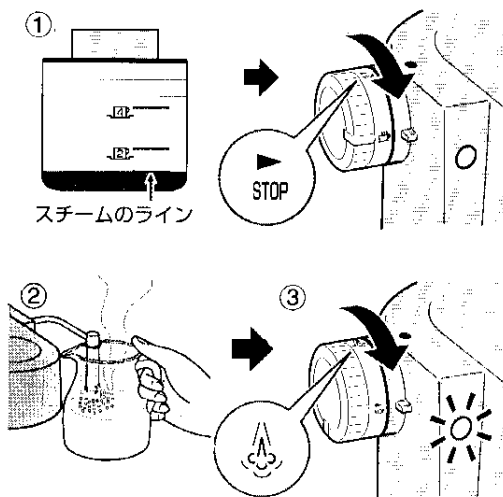
●ミルクは"成分無調整"または"[種類別] 牛乳"の表示のあるミルク（牛乳）をご使用ください。（加工乳は泡立ちません）

3 スチームノズルを使ってミルクを泡立てる

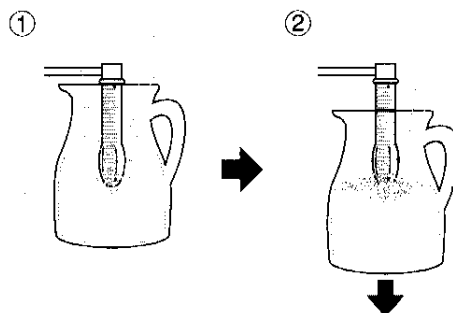
(1) スチームの準備
エスプレッソコーヒーが、ボトルのスチームの絵のところまで抽出されたら、切替つまみを「STOP」の位置まで戻します。

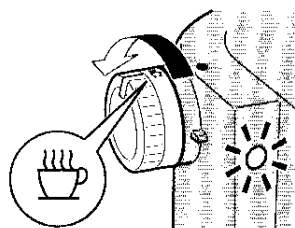
(2) 泡立ての準備
蒸気圧が上がり、スチームの準備ができたので、ミルクの入った容器を持ち、スチームノズルの先端がミルクに入るようにします。

(3) ミルクを泡立てる
ゆっくりと切替つまみを「♨」(手前の方向)に回し、スチームの絵が真上に来るまで回します。

(4) 泡立てを完了する
ミルクが十分に泡立ったら切替つまみを「STOP」の位置に戻します。

泡立てのコツ

(1)一旦、ミルクの中にスチームノズルを入れます。
(2)スチームが出始めたら、ゆっくりとスチームノズルの先端が、ミルクの表面にくるまでカップを下げます。
　●スチームノズルの先端をミルクの表面から出さないでください。

ミルクの水分やスチームの水が残りますので、泡になるのは一部分です。
ミルクが十分に温まったら、泡立ちが不十分でも切替つまみを「STOP」の位置にまわし、スチームを止めてください。

4 残りのコーヒーを抽出します

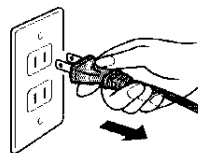
切替つまみを「☕」の位置まで後ろの方向に回し、残りのコーヒーを抽出します。

5 泡立てたミルクをコーヒーに浮かべる

カップにエスプレッソコーヒーとスチームミルク(泡立っていない部分)を注ぎ、その上にスプーンで泡立てたミルクを浮かべると、カプチーノコーヒーの出来上がりです。

6 電源を切り電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず切替つまみを「STOP」の位置にもどし、電源プラグをコンセントから抜きます。
コーヒー粉を捨て、9ページの手順に従ってタンク内のスチームを抜き、12ページの〔お手入れのしかた〕に従い、お手入れをしてください。

お手入れのしかた

⚠警告

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

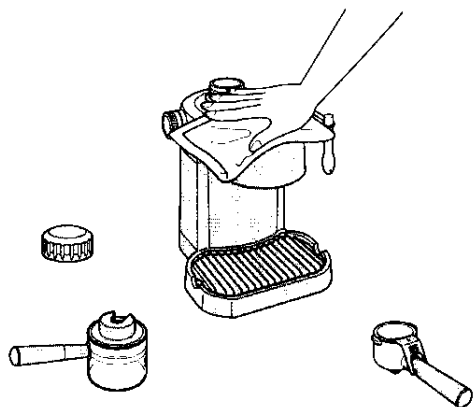
ショート・感電の原因になります。

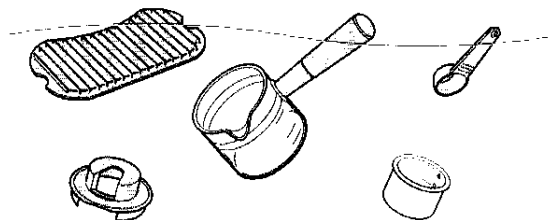
接触禁止

使用中や使用直後は湯口、スチームノズル、スチームパイプ、フィルター、フィルターホルダーなど高温部に触れない

やけどの原因になります。

本体

本体、湯口、トレイ、トレイプレートの汚れは、水を固くしぼった清潔な布でふき取ってください。
フィルターホルダーは湯口に取り付けず、外して保管してください。

付属品

計量スプーンは水ですすぎ洗いをしてください。
フィルターはコーヒーの油分が付着し、目詰まりすることがあります。台所用中性洗剤を入れたぬるま湯に浸したスポンジで洗い、洗剤分が残らないようによくすすぎます。

お願い

シンナー、ベンジン、ベンゾール、漂白剤、ミガキ粉、たわしなどを使用しますと変形、変色、変質したり表面にキズがついたりしますのでおやめください。

⚠注意

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

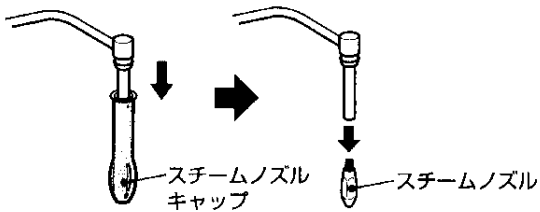
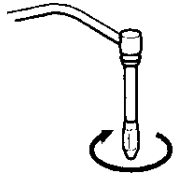
冷えてから行う

お手入れは冷えてから行う

高温部に触れやけどの原因になります。

スチームノズルの洗浄

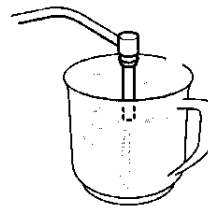
ミルクを泡立てたスチームノズルは、ミルクの成分がこびりついていますので、念入りにお手入れをしてください。

スチームノズルキャップをはずします。スチームノズルの穴や溝をつまようじなどで、汚れを取って水洗いします。

水滴をよく取りスチームノズルの先端を回して取り付けます。

スチームパイプ内の掃除

(1) 大きめのマグカップを用意し、適量の水を入れます。

(2) 電源プラグを差し込み、切替つまみを「♨」(手前方向) に回しスチームの位置にあわせます。

(3) 3分程でスチームが出て来ますので、水の入ったマグカップに、スチームパイプの先端部分が、水に浸る程度に持ち、スチームを噴出させパイプ内に付着したミルクを取りのぞきます。

(4) 蒸気が出なくなったら、切替つまみを「STOP」の位置にもどし、電源プラグを抜きます。

付属品のお買い求めについて

(お買いあげの販売店でお買い求めください)

フィルターホルダー、フィルター、スチームノズルキャップなどが変形や紛失されたときは、お買い上げの販売店でお買い上げください。

ボトル (ガラス容器)

破損した場合は「EHC-E40用ボトル」とご指定のうえお買い求めください。
部品コード：09351002

部品名	部品コード
フィルターホルダー	09351001
ボトルふた	09351003
フィルター	09351004
スチームノズルキャップ	09351005
計量スプーン	09351006

このようなときには

⚠警告

分解禁止

分解・修理・改造はしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご依頼ください。

修理を依頼する前に、つぎの点をお調べください。

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
コーヒーが十分に熱くならない	●コーヒーカップは温めましたか →	あらかじめ温めておいてください。
フィルターのまわりからコーヒーが漏れ出す	●フィルターホルダーがしっかり取り付けられていますか → ●フィルターやフィルターホルダーのまわりにコーヒー粉が付着していませんか → ●湯口が汚れていませんか →	フィルターホルダーを、確実に取り付けます。 フィルターとフィルターホルダーのふちについたコーヒー粉をふき取ります。 湯口をお手入れしてください。
コーヒーが抽出できない	●タンクに水が入り、しっかり取り付けられていますか → ●コーヒー粉の挽きかたが極細になっていたり、分量が多過ぎませんか →	タンクに水を入れてください。 分量を確認し、もう少し粗いコーヒー粉(エスプレッソコーヒーメーカー用細挽き)でお試しください。6ページ
ミルクが泡立たない	●スチームノズルが詰まっていませんか → ●ミルクが古くなっていませんか → ●ミルクが生ぬるくくなっていませんか → ●スチーム用の水がなくなっていませんか →	スチームノズルを取りはずしお手入れをしてください。13ページ 新鮮なミルクをご使用ください。 冷蔵庫で冷やしてご使用ください。 タンクに水を入れてください。
スチームがでない	●タンクに水が入っていますか →	タンクに水を入れてください。タンクに水が入りすぎていると、蒸気の発生するすき間がないので、水をへらしてください。

仕様

電　源	交流100V　50Hz-60Hz共用	**温度ヒューズ**	216℃
外形寸法	幅215×奥行220×高さ270	**コード有効長**	1.7m
本体質量	1.9kg	**抽出方式**	蒸気加圧式
消費電力	750W	**最高圧力**	1.5気圧
定格水量	4カップ240ml	**付属品**	計量スプーン1個、フィルター1個

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買いあげの日から1年間です。**
  ただし、消耗部品は保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- エレクトロラックスエスプレッソコーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　持込修理

14ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、切替つまみを「STOP」にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
便利メモ	お買いあげ日	年　月　日
	お買いあげ店名	電話（　　）

長年ご使用のエレクトロラックスエスプレッソコーヒーメーカーの点検をぜひ！！

愛情点検

このような症状はありませんか。

- 本体が異常に熱い。
- コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源ランプが点灯中、コードを動かすと点滅する。
- コゲくさいにおいがする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、切替つまみを「STOP」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買いあげの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険です。絶対に分解しないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は

お買いあげの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで 販売店に修理のご相談ができない場合	新製品などの商品選び、 お取り扱い･お手入れ方法などのご相談
東芝家電修理ご相談センター	**東芝家電ご相談センター**
フリーダイヤル 0120-1048-41	フリーダイヤル 0120-1048-86 携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048 FAXのご利用は 03-3425-2101（365日･8:00～20:00受付）

※電話受付:365日･24時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

エレクトロラックスエスプレッソコーヒーメーカー保証書

持込修理

形名	EHC-E40	
★お客様	お名前	ふりがな　　様
	ご住所	〒□□□-□□□□
	電話	市外　市内　番号　呼
保証期間	本体	1年　★お買いあげ日　　年　　月　　日から
★ご販売店	住所･店名 電話	

株式会社 **東芝** 家電機器社　HAクリエーション部

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1（東芝ビルディング）　電話 (03) 3457-3592

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときには、本書と商品をご持参のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買いあげ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
   （ト）ご使用による汚れ。
   （チ）消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. ご転居の場合は事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
5. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買いあげの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

株式会社 **東芝** 家電機器社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1（東芝ビルディング）